

熱中症から市民の命を守るためのお願いについて

【ご意見】（令和8年7月22日受付）

毎年のように猛暑が続き、熱中症で救急搬送される方や尊い命を失われる方のニュースに胸が痛みます。その多くが高齢者です。高齢になると暑さを感じにくくなります。電気代を気にしてエアコンの使用をためらう方も少なくありません。

市の防災行政無線は、市民にとって最も身近で信頼されている情報です。熱中症警戒アラートが発表された際には、防災無線で注意喚起を行い、特に高齢者へ「命を守るためにエアコンをつけてください」と強く呼びかけていただきたいと思います。また、高齢者へのエアコン使用の積極的な呼びかけを実施していただきたいと思います。

【回答】

この度は、貴重なご意見を賜りありがとうございます。

以前までは熱中症警戒アラート発令時において、千曲市LINE公式アカウントとメール配信サービスを使用し、市民へ暑さ対策の呼びかけを行なっておりました。しかしながら、昨今の気候やご提案いただいた内容を踏まえ、7月24日（金）から防災行政無線（屋外告知放送）を使用し、市民に周知しております。

また、ひとり暮らしの高齢者には、例年、本格的な暑さを迎える前に、民生委員の皆様へ熱中症対策のチラシを戸別に配布していただくことにより、注意喚起を行っています。

エアコンの積極的な使用については、今後ホームページやSNS、市報などを活用し、呼びかけを行ないつつ、市民が熱中症にならないよう努めてまいります。なお、千曲市LINE公式アカウントとメール配信サービスでは、エアコンの使用を促す文言を追加いたしました。

担当 環境課